

令和3年度 伴走型小規模事業者支援推進事業 地域経済動向調査まとめ

(令和3年 2021年 9月値・要約版)

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域が、全国と比較してどのような特徴があるのか等を分析しています。詳細はたつの市商工会HPで公開しています。

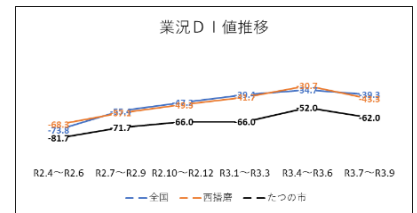
(データ出先：小規模景気動向調査、兵庫県中小企業景況調査、西播磨地域景況調査、たつの市商工会景況調査)

産業全体の景気動向の推移

〈用語説明〉D I値＝「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す
(調査事業所4、「好転」事業所1、「悪化」事業所3なら、25%-75%=-50%がD I値)

<概要>

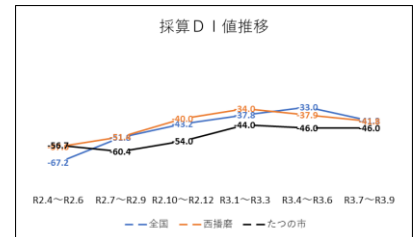
コロナ禍に伴う緊急事態宣言等の発出が広域に及んだ事で、広範な業種・業態・地域で需要減退を余儀なくされた。経営上の問題点も「需要の停滞」が高止まりしている。同時に仕入れ等のコスト高も一部に浮上していることは見逃せない。緊急事態宣言等は一旦解除されたものの、先行きの見通しは引き続き厳しい。以上を踏まえ、転業、廃業支援も含めた実情に即した政策対応が求められている。



<地域別>

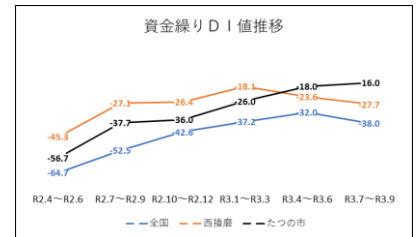
【全国】

2021年7-9月期の全産業の業況判断DIは、▲39.3(前期差4.6pt減)となり、前期から悪化した。製造業の業況判断DIは、▲38.4(前期差5.6pt減)となり、前期から悪化した。建設業の業況判断DIは、▲30.9(前期差4.2pt増)となり、前期から改善した。商業の業況判断DIは、▲42.4(前期差11.3pt減)となり、前期から悪化した。サービス業の業況判断DIは、▲45.5(前期差5.8pt減)となり、前期から悪化した。どの業種も前期に続き増減を繰り返しており、業況は安定していない状況である。



【兵庫県】

企業の業況判断は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが残る。個人消費は一部に弱い動きが続いている。輸出は増加しており、設備投資は減少計画にあるものの堅調である。生産は横ばいとなっており、有効求人倍率は前月を下回った。又、賃金は弱い動きとなっている。倒産件数は前年を上回った。

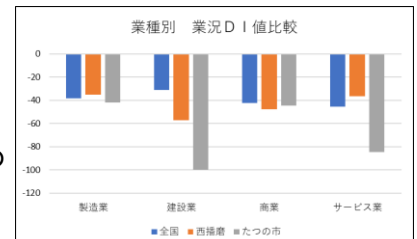


【西播磨】

西播磨全体の業況は、▲43.3(前期差12.6pt減)と悪化、売上高は、▲38.3(前期差6.2pt減)と悪化、採算状況が、▲41.8(前期差3.9pt減)と悪化、資金繰りは、▲27.7(前期差4.1pt減)と悪化傾向。来期は、▲24.1(前期差5.5pt減)で悪化する見込みとなっている。全国と比較するとすべてのDI値において、悪化の傾向となっている。

【たつの市】

たつの市の業況は、▲62.0(前期差10pt減)と悪化、売上高は、▲66.0(前期差16pt減)と悪化、採算状況は、▲46.0(前期差0pt)で同じ、資金繰りは、▲16.0(前期差2pt増)と改善。来期は、▲44.0(前期差8pt増)で改善するとの見通しとなっている。業況、売上も一進一退を繰り返して来たが、10月1日からの緊急事態宣言の解除と、兵庫県の営業時間短縮の要請も10月22日以降は解除となる為、見通しについては少しの改善となっているが、飲食店等の客足の戻りは鈍い状況が続いている。関連する酒類卸売業や食料品販売店は、しばらく厳しい状況が続くと考えられ、各業種においても先行きが見通せない状況である。



<業種別業況>

全国的には、小規模企業の業況DIは、全般的に前年同期と比較してもまだ本格的な改善には程遠く、いまだ厳しい状況が続いているとの声があった。全国的に行動制限が少しずつ緩和されることから、今後の回復に期待を寄せる事業者が多いとのコメントが目立ったが一方で冬にかけて昨年同様感染が拡大し、深刻な状況になることを懸念する声も多くあった。また経済活動の回復の中で、原材料価格の高騰や資材の調達難が全業種の業況に悪影響を与えているとの声も多数寄せられた。

<総括コメント>

国内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。先行きについては感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。但し内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。又、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

たつの市においては、人流が多い地域柄、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いつつ、事業者においては緊急事態宣言の解消に伴う経営の立て直しと合わせ、政府の経済対策(月次支援金・持続化補助金・事業再構築補助金等)も十分に活用しながら事業継続への取り組みを引き続き積極的に行う必要がある。

管内の雇用情勢

〈用語説明〉有効求人倍率 = 求人数 ÷ 求職者数
(仕事が20件 求人応募者10人なら 2.0倍)

令和3年9月期の有効求人倍率は、全国1.16倍、兵庫県0.93倍、龍野管内0.89倍となっている。令和3年1月期から全国においてもほぼ横ばい傾向で、兵庫県とたつの市もほぼ横ばい傾向である。兵庫労働局は足元の雇用情勢について求職が求人を上回っており、厳しい状況にあるとの情勢判断を継続した。加えて新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に引き続き注意する必要があるとの指摘も維持した。

